

**「2024年問題」に立ち向かう物流業界**  
ドライバー職の求人件数は増加傾向 高まる人手不足感  
**長時間労働抑制のため、短時間ルート新設と勤務時間を変更し  
新たな雇用までも生み出した事例**

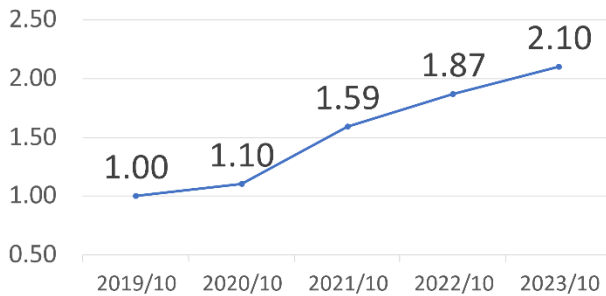
株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）は、「2024年問題」が目前に迫っている物流業界の求人件数と賃金の推移、「2024年問題」に対して新たな工夫を行った企業の事例をご紹介します。

## ■ドライバー職の求人件数（指数化）と賃金の推移

ドライバー職の求人件数は2019年と比較して伸長しており、賃金も上昇傾向。求人ニーズは増加傾向にあるものの、まだまだ人手不足感が強いことからさらなる人材確保が必要な状況。物流以外の職種についても同様に賃金が上昇しているため、今後求職者に選ばれるためには、賃金アップだけでなく、働き方など賃金以外の工夫も必要になってくると考えられる。

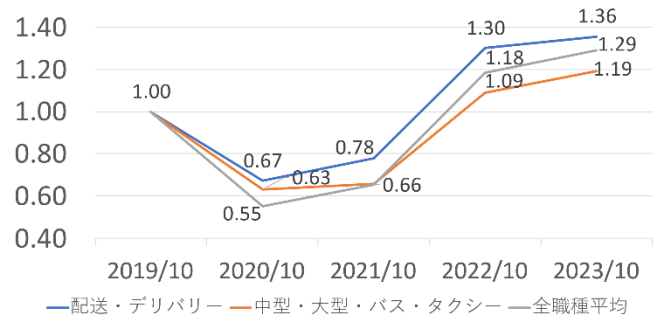
### ●ドライバー職の求人件数推移（全雇用形態／アルバイト・パート）

『リクナビNEXT』ドライバー配達スタッフの求人件数推移  
(2019年10月を1とする)



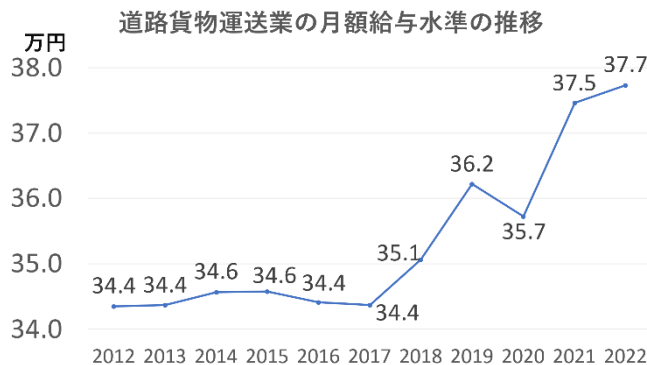
出所：『リクナビNEXT』よりドライバー関連の求人を抽出（指数化）2019～2023年  
※正社員・契約社員・派遣社員・アルバイト・パート・業務委託を抽出

アルバイト・パートドライバー職の求人件数推移  
(2019年10月を1とする)



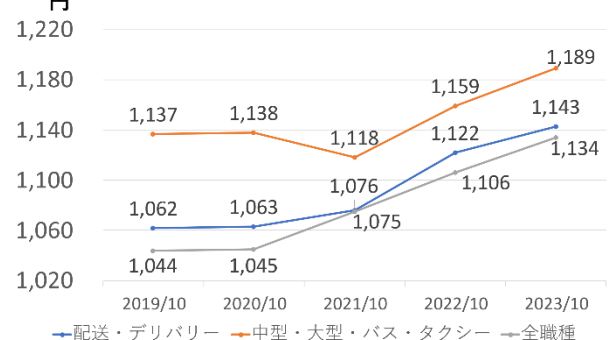
出所：ジョブズリサーチセンター「アルバイト・パート募集時平均時給調査」2019～2023年  
※全職種、配送・デリバリー、中型・大型・バス・タクシーの全国の求人件数を抽出

### ●ドライバー職の賃金推移（正社員の給与水準／アルバイト・パートの募集時平均時給）



出所：厚生労働省「毎月勤労統計調査」道路貨物運送業の給与水準 2012～2022年  
を弊社で集計

アルバイト・パート募集時平均時給推移



出所：ジョブズリサーチセンター「アルバイト・パート募集時平均時給調査」2019～2023年  
※全職種、配送・デリバリー、中型・大型・バス・タクシーの全国の平均時給を抽出

## ■働き方の工夫を行った企業事例

長時間労働抑制のため、従来の長時間ルートを見直し、短時間ルートを新設したことで、法令の遵守はもちろんのこと、これまで働く時間に制約がありドライバー職を諦めていた女性など多くの求職者に働く機会を提供することにつながった。

### <株式会社セイセイトラフィック>

#### 【企業概要】

- 本社：静岡県静岡市清水区
- 従業員数：343名（派遣社員を除く）
- 業務内容：東部エリアの市街地～南伊豆町まで幅広い地域のコンビニ商品の店舗配送業務

#### 【現状】

2024年4月から始まる時間外労働時間の規制を目前にし、従来の12時間の配送ルートで発生する長時間労働が課題であった。今までの配送ルートは「12時間ルート」のみの1本であったため、働き方の選択肢としては“働くか・休むか”の二択しかなく労働時間の調整も難しかった。採用にも苦戦しており、人手が足りていなかったため、下記施策を実施。

#### 【改善内容】

##### ①全従業員への対応：給与形態の変更

給与形態を時給から月給へ変更し、給与の安定性を確保した

残業時間を抑制する必要があったが、従業員からは時給のために少しでも長く働きたいという声もあったため、働く時間が減ることで従業員のモチベーションが下がらないよう月給制へ変更。安定的な給与が得られることで従業員のモチベーションも維持でき、時間外労働を法定内におさめることができた。

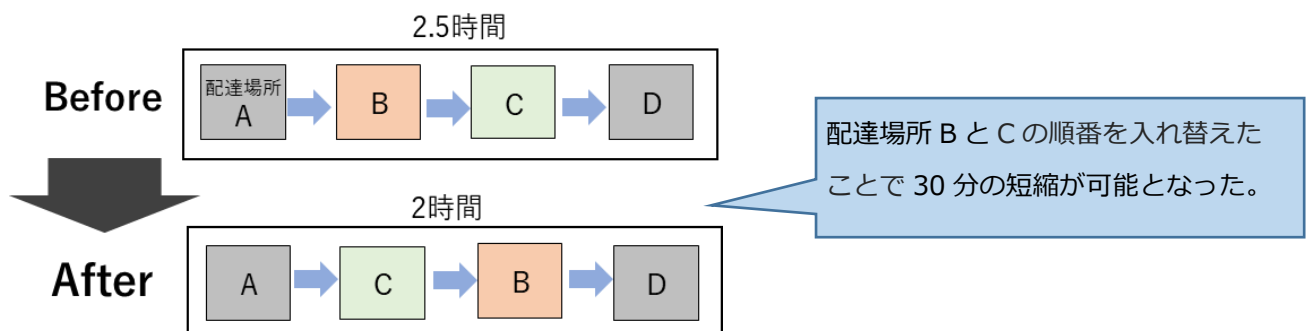
##### ②既存従業員への対応：時間外労働時間を法定内におさめられる体系づくりを実施

###### ②-1：配送ルートの効率化

既存の配送ルートを見直し、ルートを入れ替えたり、組み替えたりすることによって効率良く短時間で回ることのできるルートを作成し、配送時間の短縮を図った。午前・午後それぞれ30分ずつ短縮することで1日の残業時間を1時間削減できるようになった。

（※月に23日勤務をした場合、23時間の業務時間削減につながる）

#### <例>ルート短縮のイメージ



2024年1月23日

## ②-2：6時間ルートを新設することで「2024年問題」に対応

今回の法改正では時間外労働時間を年960時間におさめる必要があるため、ひと月あたり80時間以内におさめたいと考えていた。「12時間ルート」の場合は、運転時間11時間※1（残業3時間）+休憩1時間なので、月に23日勤務をした場合、月の時間外労働時間は69時間となる。ただ、天候や渋滞によって時間外労働時間は変動するため、1日あたり30分長く残業となった場合、11.5時間増えることとなり80時間の上限を超えてしまう。そこで新たに「6時間ルート」を設置。「12時間ルート」と「6時間ルート」を組み合わせることにより、月内に余裕を持って労働時間を調整できる体制へ変更した。これにより労働時間を大幅に減らすことなく、時間外労働時間も法定内におさまる仕組みを作った。

※1「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」（改善基準告示）により、ドライバーの連続運転時間は4時間以内となっており、運転の中断時には原則として一回おおむね連続10分以上合計30分以上の休憩を与えることが必要。

## ③新規採用での対応：新たな働き手確保のために時間帯が選択できる9時間ルートを新設

①②の施策により、既存社員の労働時間は減少したが、荷物の量は決まっているため、新たな働き手を採用する必要があった。これまでの面接内でも、休みやプライベートも大事だという求職者の声が多かったこともあり、求職者のニーズに合わせた働き方として「9時間ルート」（5:30～14:30、11:30～20:30の勤務時間）を作った。また、この時間設定には、時間外労働時間の全体平均を下げるという狙いもあった。

### 【結果】

#### ① 「2024年問題」の一つである、時間外労働時間の遵守

従業員のモチベーションを維持した状態で、月に10～20時間の時間外労働時間の削減を実現。

#### ② 新しい雇用の創出に成功

本工夫を実施した上で求人募集を行うと、電話問い合わせが相次いだ。2023年7～9月の3カ月で20名以上からの応募があった。（2022年11月～2023年2月の4カ月間では応募は5名程度）また、「9時間ルート」には4名の応募があり、そのうち3名が採用へ。自身の働ける時間に制約がありドライバー職を諦めていた方や、ドライバー職未経験のためハードルを感じていた方が魅力を感じ、応募してくれて最終的に採用に至った。

#### <実際に入社された方のコメント>



<「9時間ルート」（5:30～14:30）勤務/AT 中型免許保持/未経験/女性>

元々ドライバーに興味があり応募した。未経験のため「12時間ルート」だと長時間の運転となり体力的に不安もあるが、「9時間ルート」であればちょうど良いと思った。

<「9時間ルート」（11:30～20:30）勤務/MT 中型免許保持/未経験/女性>

当初「12時間ルート」で応募していたが、面接内で子供がいることなどを話していくうちに、「9時間ルート」の方が合うのではと提案いただき、「9時間ルート」に決めた。今では朝は子供との時間をゆっくり取れることや、体力的な面でも良かったと思っている。



2024年1月23日

このように、求職者（特に未経験の方）は、チャレンジしやすい勤務時間や条件に魅力を感じやすい。  
また、このような短時間ルートの設定は、11:30 始業であれば朝子供と過ごす時間を取れることや、14:30 終業なら子供のお迎えにも行けることなど、求職者のライフスタイルにもマッチしており、女性ドライバーの採用につながったと言える。

## ■従業員の声に耳を傾け、課題の本質を見極めることで新たな雇用も創出



ジョブズリサーチ  
センター長  
宇佐川 邦子

物流業界では、需給のギャップが拡大し、著しい人手不足に陥っています。さらに、働き方改革関連法により、「自動車運転業務における時間外労働時間の上限規制」が2024年4月1日から適用され、ドライバーの時間外労働の上限が960時間／年に制限されることが決まっています。労働時間の見直しには、早急な対処が必要です。今回ご紹介した事例では、労働時間を抑えるために、現在働いている従業員の声に耳を傾け、無理のない運転ルートや、短い勤務時間のルートなどを作り、体系的に仕組みを整えたことで、法令の遵守だけでなく、新たな雇用まで生み出しています。このように、働き手に寄り添いながら、従業員がより活躍できる仕事や職場環境は何かを考

え、働き方を改革することは重要だと考えます。制度やルールを作るだけで満足せず、求職者の視点に立って、従業員一人ひとりがどのような働き方を求めているのか、どのようなキャリアを積もうと考えているのか  
ということに企業が向き合うことも大切だと考えます。

## ■参考

ジョブズリサーチセンター「[業界別レポート] 働く人と職場／業界イメージレポート2019（ドライバー編）」

[https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20191126\\_1387.html](https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20191126_1387.html)

ジョブズリサーチセンター「求職者の動向・意識調査2023」

[https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20231130\\_2991.html](https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20231130_2991.html)

本件に関する  
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

### リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ： <https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート： <https://www.recruit.co.jp/>